

## 第6章

### 温室効果ガスの排出を抑制する緩和策

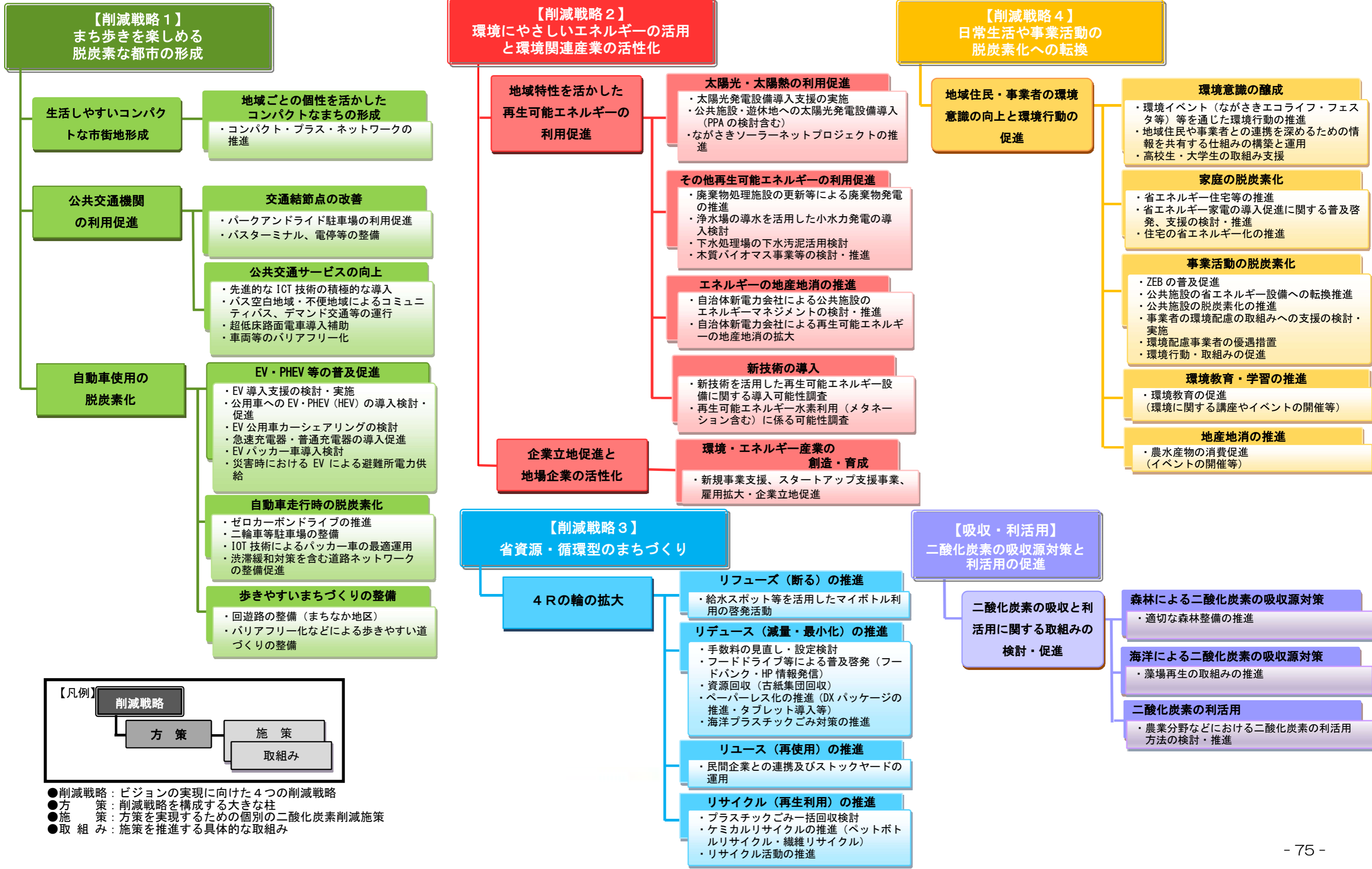
第1節 温室効果ガス中期削減戦略 体系図

第2節 中期削減戦略及びロードマップ（行程表）

第3節 圏域における連携する取組み



第1節 温室効果ガス中期削減戦略 体系図





第2節 中期削減戦略及びロードマップ（行程表）


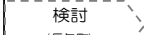
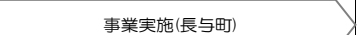
圏域の地域特性などを踏まえ、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた4つの将来ビジョンの実現や温室効果ガス削減の中長期目標の達成に向けて、4つの削減戦略及びロードマップ（行程表）を定めました。

このロードマップ（行程表）は、4つの削減戦略を進めるための方策や施策、取組みを、「いつ頃」、「どのような役割分担で」、「どのような行程で進めていくか」などの道筋を示す「行程」を明らかにするものです。

【行程表イメージ】

本計画75ページ「第1節 温室効果ガス中期削減戦略 体系図」に掲載されている削減戦略・方策・施策・取組みに沿って2023（令和5）年度から2030（令和12）年度におけるロードマップを掲載しています。

- 通常の矢印  事業実施：事業実施期間
- 点線の矢印  検討：事業検討期間

削減戦略1						
項目	2030年までの取組みロードマップ			長崎市	長与町	時津町
	2023	2024	2030			
方策	自動車使用の脱炭素化					
施策	EV・PHEVの普及促進					
取組み	 事業実施(長崎市)			●	●	
	 検討(長与町)					
	 事業実施(長与町)					

「取組み」に掲載している事業について、それぞれの市町で、取組みの実施若しくは検討を行っている場合は「●」、実施・検討していない場合は空欄としています。

地球温暖化対策	関連するSDGsのゴール																
削減戦略1																	
削減戦略2																	
削減戦略3																	
削減戦略4																	
吸収・利活用																	
気候変動適応策																	

図 地球温暖化対策に関する取組みと関連するSDGsのゴール（再掲）

削減戦略1

まち歩きを楽しめる脱炭素な都市の形成

方策1 生活しやすいコンパクトな市街地形成

市街地の拡大を抑制し、生活しやすいコンパクトな市街地の形成に向けた整備を行います。

施策 地域ごとの個性を活かしたコンパクトなまちの形成



方策2 公共交通機関の利用促進

自動車中心のライフスタイルからの脱却を図るため、公共交通機関の利用を促進する施策を実施します。

施策① 交通結節点の改善



施策② 公共交通サービスの向上



方策3 自動車使用の脱炭素化

自動車については、EVやPHEV等の普及を促進し、充電設備の設置等インフラの整備を行います。エコドライブやカーシェアリングの普及に努め、使用方法の改善を図るとともに、地域住民や観光客が歩いて移動しやすいまちにするため、回遊路の整備等を推進します。

施策① EV・PHEV等の普及促進



施策② 自動車走行時の脱炭素化



施策③ 歩きやすいまちづくりの整備



削減戦略達成目標

コンパクトで暮らしやすい住環境の整備が進み、全ての主体が脱炭素型の移動手段を利用する環境に優しいまちを実現する。

長崎市における戦略をリードする野心的数値目標

目標値：市内の自動車保有台数に占めるEV・PHEVの割合を2030（令和12）年までに20～25%にする  
CO<sub>2</sub>削減量：52,032～65,313 t-CO<sub>2</sub>

削減戦略1							
項目	2030年までの取組みロードマップ			長崎市	長与町	時津町	
	2023	2030					
方策	生活しやすいコンパクトな市街地形成						
施策	地域ごとの個性を活かしたコンパクトなまちの形成						
取組み	■コンパクト・プラス・ネットワークの推進【行政】	事業実施 (都市計画マスタープラン等の関連計画の見直し等)			●	●	●
方策	公共交通機関の利用促進						
施策	交通結節点の改善						
取組み	■パークアンドライド駐車場の利用促進【事業者・行政】	事業実施			●	●	●
	■バスターミナル、電停等の整備【事業者】	事業実施			●		●
施策	公共交通サービスの向上						
取組み	■先進的なICT技術の積極的な導入【事業者・行政】	システム検討(長崎市) → 導入検討・導入(長崎市)			●		●
		検討(時津町)					
	■バス空白地域・不便地域によるコミュニティバス、デマンド交通等の運行【事業者・行政】	事業実施(長崎市)			●	●	
		検討(長与町)					
	■超低床路面電車導入補助【行政】	事業実施			●		
	■車両等のバリアフリー化【事業者】	事業実施			●	●	●
方策	自動車使用の脱炭素化						
施策	EV・PHEV等の普及促進						
取組み	■EV導入支援の検討・実施【行政】	事業実施(長崎市)			●	●	
		検討(長与町) → 事業実施(長与町)					
	■公用車へのEV・PHEV(HEV)の導入検討・促進【行政】	導入検討・促進			●	●	●
	■EV公用車カーシェアリングの検討【行政】	検討(長崎市) → 事業実施(長崎市)			●	●	
		検討(長与町)					
	■急速充電器・普通充電器の導入促進【事業者・行政】(時津町は事業者による導入促進)	導入支援(長崎市) → 普及・啓発(長崎市)			●	●	●
	普及・啓発(長与町)						
■EVパッカー車導入検討【事業者・行政】(時津町は委託事業者による検討)	検討 → 段階的導入			●	●	●	
■災害時におけるEVによる避難所電力供給【事業者・行政】	事業実施			●	●	●	
施策	自動車走行時の脱炭素化						
取組み	■ゼロカーボンドライブの推進【市民・事業者・行政】	事業実施			●	●	●
	■二輪車等駐車場の整備【行政】	事業実施			●	●	
	■IoT技術によるパッカー車の最適運用【事業者・行政】(時津町は委託事業者による検討)	現状分析区割り(長崎市) → 区割りの検証(長崎市)			●	●	●
		検討(長与町、時津町)					
	■渋滞緩和対策を含む道路ネットワークの整備促進【行政】	整備促進			●	●	●
施策	歩きやすいまちづくりの整備						
取組み	■回遊路の整備(まちなか地区)【事業者・行政】	整備実施 → 実施未定			●		●
	■バリアフリー化などによる歩きやすい道づくりの整備【行政】	事業実施			●	●	●

削減戦略2 環境にやさしいエネルギーの活用と環境関連産業の活性化

方策1 地域特性を活かした再生可能エネルギーの利用促進

化石燃料の利用縮小を図るため、太陽光発電設備設置のさらなる拡大、家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源の有効利用等、自然由来のエネルギーの利用促進を図ります。

施策① 太陽光・太陽熱の利用促進



施策② その他再生可能エネルギーの利用促進



施策③ エネルギーの地産地消の促進



施策④ 新技術の導入検討



方策2 企業立地促進と地場企業の活性化

環境と経済の好循環に向け、事業者の環境関連産業への参入や起業を促進します。

施策 環境・エネルギー産業の創造・育成



削減戦略達成目標

住民生活や事業活動など様々な分野において再生可能エネルギーが最大限有効活用され、環境・エネルギー産業が活性化した環境と経済が好循環するまちを実現する。

長崎市における戦略をリードする野心的数値目標

目標値：市域のエネルギー消費量のうち、再生可能エネルギーの割合を  
2030（令和12）年までに20%にする

CO<sub>2</sub>削減量：28,880 t-CO<sub>2</sub>

※詳細は本計画第4章に掲載



## 第6章

削減戦略2					
項目		2030年までの取組みロードマップ	長崎市	長与町	時津町
方策	2023		2030		
方策	地域特性を活かした再生可能エネルギーの利用促進				
施策	太陽光・太陽熱の利用促進*				
取組み	■太陽光発電設備導入支援の実施【行政】	事業実施（長崎市・長与町）	●	●	
	■公共施設・遊休地への太陽光発電設備導入（PPAの検討含む）【行政】	重点対策による取組の実施	●	●	
	■ながさきソーラーネットプロジェクトの推進【住民・事業者・行政】	事業実施	●		
施策	その他再生可能エネルギーの利用促進				
取組み	■廃棄物処理施設の更新等による廃棄物発電の推進【行政】	構築（長崎市） 2026（R8）年新東工場供用開始（長崎市） 検討（長与町・時津町）	●	▲	▲
	■浄水場の導水を活用した小水力発電の導入検討【事業者・行政】	検討（長崎市・長与町） 事業実施（長崎市・長与町） 検討（時津町）	●	●	●
	■下水処理場の下水汚泥活用検討【事業者・行政】	検討	●	●	●
	■木質バイオマス事業等の検討・推進【事業者・行政】	検討・事業実施（長崎市） 周知・啓発（長与町・時津町）	●	●	●
施策	エネルギーの地産地消の促進				
取組み	■自治体新電力会社による公共施設のエネルギーマネジメントの検討・推進【事業者・行政】	公共施設への再生エネ由来電力供給拡大と効率的運用の検討・推進	●	●	●
	■自治体新電力会社による再生可能エネルギーの地産地消の拡大【事業者・行政】（時津町は事業者による拡大）	脱炭素電源の開発及び供給先の拡大	●	●	●
施策	新技術の導入検討				
取組み	■新技術を活用した再生可能エネルギー設備に関する導入可能性調査【事業者・行政】	情報収集 導入検討・導入	●	●	●
	■再エネ水素利用（メタネーション含む）に係る可能性調査【事業者・行政】	情報収集 導入検討・導入	●	●	●
方策	企業立地促進と地場企業の活性化				
施策	環境・エネルギー産業の創造・育成				
取組み	■新規事業支援・スタートアップ支援事業・雇用拡大・企業立地促進【事業者・行政】	事業実施	●		●

\*時津町は、太陽光パネルの廃棄問題や土砂災害発生リスク及び反射光等の諸問題が解決するまで、太陽光発電の推進を控えております。

削減戦略3

省資源・循環型のまちづくり

方策 4Rの輪の拡大

4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、ごみの発生抑制を図るとともに、さらなるごみの資源化を推進します。

施策① リフューズ（断る）の推進



施策② リデュース（減量・最小化）の推進



施策③ リユース（再使用）の推進



施策④ リサイクル（再生利用）の推進



削減戦略達成目標

だれもがごみの減量化やリサイクルに関心を持ち、積極的に取り組むことで省資源・循環型のまちを実現する。

長崎市における戦略をリードする野心的数目標

目標値： 燃やされているプラスチック製品を 2030（令和 12）年までにゼロにする  
CO<sub>2</sub>削減量：23,990 t-CO<sub>2</sub>

削減戦略3					
項目		2030年までの取組みロードマップ	長崎市	長与町	時津町
		2023			2030
方策	4Rの輪の拡大				
施策	リフューズ（断る）の推進				
取組み	■給水スポット等を活用したマイボトル利用の啓発活動【住民・事業者・行政】		●	●	●
施策	リデュース（減量・最小化）の推進				
取組み	■手数料の見直し・設定検討【行政】		●	●	●
	■フードドライブ等による普及啓発（フードバンク・HP情報発信）【住民・事業者・行政】		●	●	●
	■資源回収（古紙集団回収）【住民・行政】		●	●	●
	■ペーパーレス化の推進（DX/パッケージの推進・タブレット導入等）【住民・事業者・行政】		●	●	●
	■海洋プラスチックごみ対策の推進【事業者・行政】		●	●	●
施策	リユース（再生利用）の推進				
取組み	■民間企業との連携及びストックヤードの運用【事業者・行政】		●	●	●
施策	リサイクル（再生利用）の推進				
取組み	■プラスチックごみ一括回収検討【行政】		●	●	●
	■ケミカルリサイクルの推進【事業者・行政】 ①ペットボトルリサイクル（ボトルtoボトル） ②繊維リサイクル（繊維to繊維）		●	●	●
	■リサイクル活動の推進 ・小中学校リサイクル活動 ・リサイクルコミュニティ推進 ・資源回収活動に関する支援		●	●	●

削減戦略4

日常生活や事業活動の脱炭素化への転換

方策 地域住民・事業者の環境意識の向上と環境行動の促進

地域住民や団体相互の連携を支援するためにそれぞれの活動等の情報の共有化を進め、高効率機器や省エネ行動の普及拡大につなげます。また、日々の暮らしや事業活動における省エネ行動によるCO<sub>2</sub>削減量がわかるような「CO<sub>2</sub>の見える化」の推進や、日常の食生活の脱炭素化を進めるために輸送に伴うエネルギー消費の少ない、安全・安心な地元産食材の消費拡大を推進するなど、家庭や事業所における脱炭素化に向けた行動の促進を図ります。地球温暖化対策の最も基礎となり、地域住民の意識改革を進めていくうえで重要となる環境教育・学習についても、充実を図ります。

施策① 環境意識の醸成	11 住み続けられるまちづくりを	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう		
施策② 家庭の脱炭素化	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を			
施策③ 事業活動の脱炭素化	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
施策④ 環境教育・学習の推進	4 質の高い教育をみんなに	17 パートナーシップで目標を達成しよう				
施策⑤ 地産地消の推進	8 働きがいも経済成長も	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう			

削減戦略達成目標

あらゆる生活シーンで脱炭素型のライフスタイルが確立し、地域全体で持続可能な脱炭素なまちを実現する。

長崎市における戦略をリードする野心的数値目標

目標値：新築住宅のうちZEH基準（ZEH、Nearly ZEH、ZEH Oriented）の省エネ性能に適合する住宅の割合を2030（令和12）年までに60%以上にする  
CO<sub>2</sub>削減量：8,434 t-CO<sub>2</sub>

削減戦略4						
項目		2030年までの取組みロードマップ		長崎市	長与町	時津町
		2023	2030			
方策	地域住民・事業者の環境意識の向上と環境行動の促進					
施策	環境意識の醸成					
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境イベント（ながさきエコライフ・フェスタ等）等を通じた環境行動の推進【住民・事業者・行政】</li> </ul>	事業実施		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域住民や事業者との連携を深めるための情報を共有する仕組みの構築と運用【住民・事業者・行政】</li> </ul>	検討・事業実施		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高校生・大学生の取組み支援・市民環境活動応援事業等【住民・事業者・行政】</li> </ul>	事業実施		●	●	●
施策	家庭の脱炭素化					
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■省エネルギー住宅等の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①低炭素建築物新築等の認定</li> <li>②長期優良住宅の認定</li> <li>③省エネ基準適合の義務化【住民・事業者】</li> <li>④省エネルギー住宅等の周知啓発【行政】</li> </ul> </li> </ul>	①②事業実施(長崎市) ③事業実施(長崎市) ①②③周知・啓発・推進(時津町・長与町) ※認定は県が実施 ④事業実施		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■省エネルギー家電の導入促進に関する普及啓発、支援の検討・推進【行政】</li> </ul>	支援事業実施(長崎市、長与町) 普及啓発に関する検討(時津町)		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■住宅の省エネルギー化の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅性能向上リフォーム補助金(長崎市)</li> <li>・新築省エネ住宅(ZEH、ZEH+)補助金(長与町)</li> </ul> </li> <li>【住民・行政】</li> </ul>	事業実施		●	●	●
施策	事業活動の脱炭素化					
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ZEBの普及促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設におけるZEB化の検討・実施【行政】</li> </ul> </li> </ul>	検討・事業実施		●	●	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共施設の省エネルギー設備への転換推進【行政】</li> </ul>	公共施設 LED100%導入(リース方式等の検討・導入促進)等		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共施設の脱炭素化の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボン電力の調達・検討</li> <li>・カーボンニュートラル都市ガスの調達・検討【行政】</li> </ul> </li> </ul>	事業実施(長崎市) 検討(長与町) 事業実施(長与町) 検討(時津町)		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業者の環境配慮の取組みへの支援の検討・実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業エコ資金融資(環境問題に積極的に取り組むために要する資金を必要とする中小企業者を対象とした融資制度)【行政】</li> </ul> </li> </ul>	事業実施(長崎市) 検討(長与町・時津町)		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境配慮事業者の優遇措置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①民間保育所等施設整備事業の補助対象事業者選定審査基準の検討</li> <li>②エコアクション21認証登録事業者公共工事入札加点優遇制度の検討・実施</li> <li>③ゼロカーボンシティ長崎プロジェクト認定制度の実施【事業者・行政】</li> </ul> </li> </ul>	①審査基準の変更検討・実施(長崎市) ②エコアクション21認証登録(長崎市、長与町、時津町) ③検討・事業実施(長崎市)		●	●	●
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境行動・取組みの促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クールビズ、ウォームビズの実施</li> <li>・ノー残業デーの実施【事業者・行政】</li> </ul> </li> </ul>	事業実施		●	●	●
施策	環境教育・学習の推進					
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境教育の促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する講座やイベントの開催</li> <li>・環境教育・学習のカリキュラムの充実</li> <li>・親子環境教室など体験型環境学習の充実【住民・事業者・行政】</li> </ul> </li> </ul>	事業実施		●	●	●
施策	地産地消の推進					
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農林水産物の消費促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農水産物等の即売を行うイベント(ながさき実り・恵みの感謝祭、びわフェスタ等)【市民・事業者・行政】</li> <li>・学校給食における地場産物の使用推進【住民・行政】</li> </ul> </li> </ul>	事業実施		●	●	●

吸収・利活用

二酸化炭素の吸収源対策と利活用の促進

方策 二酸化炭素の吸収と利活用に関する取組みの検討・促進

森林や、海洋生態系等によって吸収される大気中に含まれる二酸化炭素の吸収源対策を講じるとともに、農業分野などにおける二酸化炭素の利活用方法について検討・推進します。

施策① 森林による二酸化炭素の吸収源対策



施策② 海洋による二酸化炭素の吸収源対策



施策③ 二酸化炭素の利活用



吸収・利活用

項目		2030年までの取組みロードマップ	長崎市	長与町	時津町
		2023			
方策	二酸化炭素の吸収と利活用に関する取組みの検討・促進				
施策	森林による二酸化炭素の吸収源対策				
取組み	■適切な森林整備の推進 【事業者・行政】	事業実施	●	●	●
施策	海洋による二酸化炭素の吸収源対策				
取組み	■藻場再生の取組みの推進 【事業者・行政】	事業実施	●	●	●
施策	二酸化炭素の利活用				
取組み	■農業分野などにおける二酸化炭素の利活用方法の検討・推進 【事業者・行政】	事業検討・推進	●	●	●

### 第3節 圏域における連携する取組み

圏域全体で2050（令和32）年「ゼロカーボンシティ」を実現するため、各市町が独自で推進する取組みの他に、圏域で連携・協力し、一体となって実施する取組みを検討・推進していくこととします。

連携して取り組むことにより、圏域全体の温室効果ガス排出量の削減効果が高まることが期待されます。

#### 1 公用車へのEV・PHEVの導入、自動車使用方法の見直し

##### ① 公用車への計画的なEV・PHEVの導入検討・推進

- ▶▶▶ 導入台数：長崎市 2030年までに公用車（特殊車両除く）の総数に占めるEV・PHEVの割合を2030年までに50%以上にする  
（野心的数値目標）  
長与町、時津町： EV・PHEVの導入方針等の検討

##### ② 圏域内の移動に伴う自家用車利用の抑制に向けた取組みの推進

##### 【効果】

圏域における運輸部門の温室効果ガス排出量の削減へ貢献



写真 電気自動車（EV）【長崎市】



図 カーシェアリング

#### 2 (株)ながさきサステナエナジーとの連携

##### ① 長与町、時津町の公共施設を対象にした再生可能エネルギー供給先の拡大検討

- ▶▶▶ 供給検討施設：長与町役場、時津町役場など

##### ② 遊休地、公共施設への太陽光発電設備等の設置検討

- ▶▶▶ 供給施設：長崎市 公共施設、遊休地など  
長与町 設置可能施設の検討

##### 【効果】

再生可能エネルギーの地産地消の拡大、脱炭素電源の拡大に貢献

### 3 環境教育・行動変容の水平展開

- ① 圏域内の高校生・大学生の環境保全及び地球温暖化対策の取組み・連携の支援の検討
- ② 小学生・中学生を対象とした環境教育プログラム及び行動変容への動機づけの展開の検討・推進

【効果】

核となる人材育成及び自分事としての行動変容に貢献



写真 次世代を担う若者との意見交換  
(長崎市 2022 (令和4) 年8月特別委員会)



### 4 体験型イベントの参加による気運醸成

- ① 各市町のイベント（ながさきエコライフフェスタ、夏祭り、マルシェなど）への出店・周知の連携・協力

【効果】

地域住民の環境保全・地球温暖化対策に関する興味・関心の向上に貢献



写真 ながさきエコライフ・フェスタ



コラム⑦

温室効果ガス削減に向けた家庭での取組み

地球温暖化の進行を防ぐため、国全体で2050（令和32）年温室効果ガス実質ゼロである「カーボンニュートラル」の実現に向けて、様々な取組みを進めているところであり、長崎市、長与町、時津町においても、同様に、2050（令和32）年までに「ゼロカーボンシティ」を実現することを目標に掲げ、本計画に沿って取組みを推進していくこととしています。

この大きな目標を実現するためには、行政機関の取組みだけではなく、市民や町民一人ひとりの意識や行動が必要不可欠となります。

なぜ、一人ひとりの意識や行動が必要不可欠になるのでしょうか。

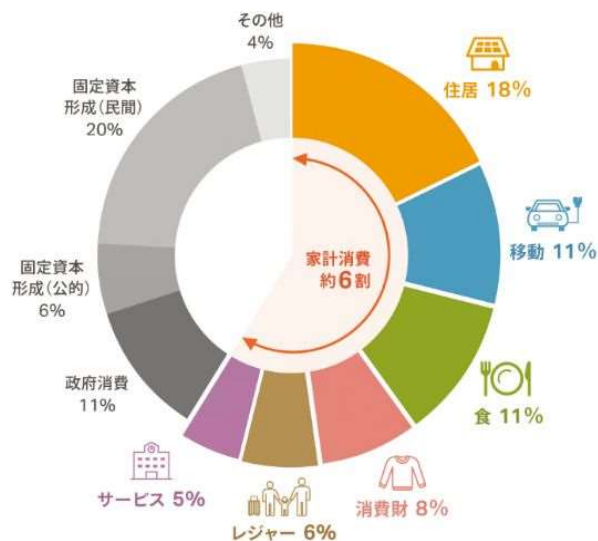
それは、右記のグラフからもわかるように、わが国のCO<sub>2</sub>排出量の約6割が、衣・食・住・移動など、私たちが普段の生活の中で消費する製品・サービスのライフサイクル（製造、流通、使用、廃棄等の各段階）において生ずる温室効果ガスであるためです。

私たちが、生活の中でちょっとした工夫をしながら、無駄をなくし、環境負荷の低い製品・サービスを選択することで、こうしたライフスタイルに起因するCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献することができます。

国においては、2050年カーボンニュートラル及び2030（令和12）年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするための新しい国民運動である「デコ活<sup>\*</sup>」を始め、できることから、カーボンニュートラルなライフスタイルに取り組むことを推奨しています。

市民・町民一人ひとりが自身のライフスタイルについて見つめ直し、行動を起こすことによって、地球環境を守るだけでなく、快適で、心豊かな暮らしにもつながるかもしれません。

※二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を減らす（DE）脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉（2023年7月13日）



消費ベースでの日本のライフサイクル温室効果ガス排出量  
（出典 環境省ホームページ）

デコ活アクション まずはここから！

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ** つながるオフィス テレワーク

デコ活アクション  
（出典 環境省ホームページ）



図 新たな国民運動の内容（出典 環境省 HP）

分類		アクション	
まずはここから	住	<b>デ</b>	電気も省エネ 断熱住宅 (電気代を抑える断熱省エネ住宅に住む)
	住	<b>コ</b>	こだわる楽しさ エコグッズ (LED・省エネ家電などを選ぶ)
	食	<b>カ</b>	感謝の心 食べ残しゼロ (食品の食べきり、食材の使い切り)
	職	<b>ツ</b>	つながるオフィス テレワーク (どこでもつながれば、そこが仕事場に)
ひとりでのCO <sub>2</sub> が下がる	住		節水できる機器、高効率の給湯器を選ぶ
	移		環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住		太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣		クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住		ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食		地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移		できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買		はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住		宅配便は一度で受け取る

図 デコ活アクション一覧（出典 環境省 HP より抜粋）